

市民の意見

発行：市民の意見30の会・東京

NO.172

2019/2/1

【毎偶数月1日発行】



発行者の住所：〒108-0073 東京都港区三田3-4-17-206 TEL:03-6435-2030 FAX:03-6435-2031

代表：野澤信一 Eメール：iken30@mwb.biglobe.ne.jp ホームページ：http://www1.jca.apc.org/iken30

*隔月刊/購読料・送料とも年2500円、1部400円、協会会員年5000円、敬老・障がい者会員年2000円、グリーン会員年1000円
郵便振替：00120-9-359506 市民の意見30の会

中学3年の時、父に日本画の絵描きになりたいと言い出す。中学卒業とともに美術学校に入学し、成績も優秀であった。軍隊から帰ったらアトリエを建ててあげると、父は約束していた。動員された美校生の中では最年少だった。東京大空襲で亀戸の住居が焼け、両親は千葉の実家に身を寄せていたが、「武雄が帰って焼跡に立ったら可哀想だから」と元の住居跡に家を建てて完成の日に戻るが、帰りの待つを待っていたかのように武雄の戦死の公報が届く。築地の魚河岸に勤める父、武一郎。一人息子/独身。(新版戦没画学生人名録「戦没画学生慰霊美術館「無言館」編」)



「独活(ウド)」大竹武雄

戦没画学生「祈りの絵」第Ⅱ集「無言館を訪ねて」(窪島誠一郎編・講談社)より

市民の意見 172号 目次

巻頭詩 「広告」 青山晴江 2

■特集1 新「防衛大綱」と軍事化する社会

「防衛計画の大綱」と 「中期防衛力整備計画」について 飯島滋明 4

巨額の攻撃型武器購入で「専守防衛」終焉へ 杉原浩司 6

自衛隊の防災・救助訓練の問題点 池田五律 8

人類の脅威は軍国主義 竹内光浩 10

■特集2 未解決の日本の戦争責任問題

秋篠宮発言は天皇の現人神祭祀「大嘗祭」は、 辻子 実 13

強行するぞという決意表明 (憲法解釈は朕のもの!) 天野恵一 15

〈天皇教〉と〈祝祭ナシヨナリズム〉

——「生前退位」問答⑦

◆今ここにある「移民社会」から、 安藤真起子 19

◆新たな「外国人材」受け入れを問う 古沢宣慶 21

◆非暴力と反軍の九条(22)

■運動の現場から

復興庁や文科省の出したパンフは ウンばかり! 黒田節子 25

東海第二原発の運転延長を認めるな! 片岡遼平 27

東京空襲犠牲者の追悼と、犠牲者氏名の 榎本喜久治 29

記録と実相の継承をもとめて 警視庁機動隊の沖繩への派遣中止を求める住民訴訟 気高 歩 30

■文化

連続エッセイ⑥ 可能性のある東を生きる鈴木一誌 阿部めぐみ 32

本の紹介 『反戦川柳集』 志村建世 33

まんが ふしぎの国のありか⑦ まつただたえこ 36

■情報

会計報告 28 読者からのお便り 34 編集後記 36

題字 安西賢誠 印刷・レイアウト (有山猫印刷所)